



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年12月26日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社乃村工藝社

コード番号 9716

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 勝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 吉本 清志 (TEL) 03 (5962) 1119

四半期報告書提出予定日 平成24年12月27日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績（平成24年2月16日～平成24年11月15日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	66,987	14.8	1,165	—	1,268	—	533	—
24年2月期第3四半期	58,356	△3.1	△207	—	△150	—	△331	—

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 571百万円 (—%) 24年2月期第3四半期 △522百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	9.55	—
24年2月期第3四半期	△5.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第3四半期	54,468	25,006	45.9	447.86
24年2月期	54,344	24,883	45.8	445.62

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 25,006百万円 24年2月期 24,883百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.0	—	8.0	8.0
25年2月期	—	0.0	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	8.0	8.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想（平成24年2月16日～平成25年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,000	6.3	1,600	31.6	1,700	28.2	940	55.6	16.83

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2 平成25年2月期は決算期変更の経過期間となることから、通期については12.5ヶ月（平成24年2月16日～平成25年2月28日）の予想数値を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期3Q	59,948,294株	24年2月期	59,948,294株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	4,112,521株	24年2月期	4,108,553株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期3Q	55,837,420株	24年2月期3Q	55,842,449株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P. 4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注および売上高の状況	10
(2) セグメント別（ディスプレイ事業は制作品別）の生産高、受注および売上高の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	58,356	66,987	8,631	14.8
営業利益又は営業損失(△)	△207	1,165	1,372	—
経常利益又は経常損失(△)	△150	1,268	1,419	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△331	533	864	—

当第3四半期連結累計期間（平成24年2月16日～平成24年11月15日）のわが国経済は、震災復興需要等を背景に一部で持ち直しの動きが見られたものの、欧州や中国など海外経済の減速傾向に加え、電力供給問題、円高の影響もあり、予断を許さない状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、市場の変化への対応力を強化するなど、経営目標である「選ばれるノムラ」の実現に向け事業活動を展開してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は669億87百万円（前年同期比14.8%増）となりました。

また、利益面におきましては、受注競争激化の影響を受けたものの売上高の増加にともない、営業利益は11億65百万円（前年同期は営業損失2億7百万円）、経常利益は12億68百万円（前年同期は経常損失1億50百万円）、四半期純利益は5億33百万円（前年同期は四半期純損失3億31百万円）と、いずれも前年同期の損失から利益に転じております。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

①ディスプレイ事業

商業施設分野では、都内において大型商業施設の開業が相次ぎ、国内外のアパレル関連の店舗内装を数多く手がけたほか、新たに開通した高速道路のサービスエリアの環境演出を手掛けました。また、広報・販売促進市場分野では、新装・改装など、堅調に推移した住宅関連企業のショールームのほか、「CEATEC JAPAN 2012」や「東京ゲームショウ2012」などの大型展示会のブース制作を手掛けました。この他、博物館・美術館市場では、文化・学術関連施設の展示制作、指定管理者制度^(注)にもとづく施設運営を含めた全国の文化施設等の管理・運営業務にあたってまいりました。

この結果、ディスプレイ事業の売上高は653億19百万円（前年同期比14.7%増）となりました。利益面につきましては、売上高の増加に加え原価率の改善に努め、営業利益は9億62百万円（前年同期は営業損失3億29百万円）となりました。

（単位：百万円）

概 要		売 上 高		増減額	増減率 (%)
市場分野名	当期主要プロジェクト	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間		
専門店市場 (物販店、飲食店、サービス業態店等)	海外・国内のアパレルブランドショップや金融機関の内装制作等	23,342	29,141	5,798	24.8
百貨店・量販店市場	中部圏や首都圏の百貨店におけるリニューアル等	4,593	4,177	△416	△9.1
複合商業施設市場 (ショッピングセンター等)	都内に開業した大型商業施設や空港内の商業施設、高速道路のサービスエリアにおける空間演出等	4,779	5,355	575	12.0
広報・販売促進市場 (企業PR施設、ショールーム、セールスプロモーション、CI等)	エネルギーや住宅関連企業のショールームの新装・改装、「CEATEC JAPAN 2012」の展示ブース制作等	9,496	10,695	1,198	12.6
博物館・美術館市場 (博物館、文化施設、美術館等)	「原鉄道模型博物館」（神奈川県）や「高志の国 文学館」（富山県）の展示制作、指定管理者制度にもとづく施設の管理・運営等	7,408	5,613	△1,794	△24.2
余暇施設市場 (テーマパーク、ホテル・リゾート施設、アミューズメント施設、エンターテイメント施設、動物園、水族館等)	温浴施設やホテルの内装、水族館やアミューズメント施設の展示演出等	2,761	4,018	1,256	45.5
博覧会・イベント市場 (博覧会、見本市、文化イベント等)	行政や民間企業が主催するイベント等	232	477	245	105.7
その他市場 (上記以外の市場に係るもの) (オフィス、ブライダル施設、サイン、モニュメント等)	オフィスの環境演出やサイン工事、大型モニュメントの制作等	4,320	5,840	1,519	35.2
ディスプレイ事業		56,936	65,319	8,383	14.7

（注）指定管理者制度：地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度。平成15年9月より施行されている。

②不動産事業

所有する不動産における賃料収入などにより、売上高は3億49百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は1億8百万円（前年同期比8.2%減）となりました。

（単位：百万円）

概 要	売 上 高		増減額	増減率 (%)
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間		
所有する不動産における賃料収入等	352	349	△2	△0.7

③飲食・物販事業

本年5月、商業施設「東京ソラマチ」に東京下町雑貨「がっちゃんら屋」（東京都墨田区）を新規開業したほか、「Z a k k a & C a f e T R A N S F E R」（東京都港区）などの既存飲食・物販店の運営を手掛け、売上高は13億18百万円（前年同期比23.5%増）、営業利益は1億68百万円（前年同期比109.9%増）となりました。

（単位：百万円）

概 要	売 上 高		増減額	増減率 (%)
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間		
ミュージアムショップや商業施設における飲食店・物販店の運營業務等	1,068	1,318	250	23.5

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は544億68百万円（前連結会計年度末比1億23百万円増）、負債は294億61百万円（前連結会計年度末比0百万円減）、純資産は250億6百万円（前連結会計年度末比1億23百万円増）となりました。

総資産は債権の回収により現金及び預金が増加し、受取手形及び売掛金が大幅に減少しました。また、受注残高の増加によりたな卸資産が増加しております。

負債は受注残高の増加にともない前受金が増加しましたが、手許資金が充実したことにより短期借入金を返済したことと、期末月の仕入れ減少により支払手形及び買掛金が減少しております。

純資産は配当金の支払いをおこないましたが、四半期純利益の計上により主に利益剰余金が増加いたしました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の45.8%から45.9%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月28日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月15日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	411	4,868
受取手形及び売掛金	20,850	13,801
有価証券	26	31
たな卸資産	8,277	11,663
繰延税金資産	860	853
その他	1,033	638
貸倒引当金	△62	△41
流動資産合計	31,398	31,816
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,480	12,498
土地	10,078	10,056
その他	1,639	1,736
減価償却累計額	△6,155	△6,516
有形固定資産合計	18,042	17,775
無形固定資産	505	584
投資その他の資産		
投資有価証券	2,050	2,145
その他	2,785	2,476
貸倒引当金	△438	△330
投資その他の資産合計	4,398	4,291
固定資産合計	22,946	22,651
資産合計	54,344	54,468

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年2月15日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月15日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,977	14,822
短期借入金	1,224	—
未払法人税等	491	452
前受金	2,377	4,309
賞与引当金	934	1,141
工事損失引当金	350	468
環境対策引当金	100	100
その他の引当金	74	78
その他	2,070	2,113
流動負債合計	23,601	23,485
固定負債		
退職給付引当金	4,322	4,338
その他の引当金	180	201
その他	1,356	1,435
固定負債合計	5,860	5,975
負債合計	29,461	29,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,497	6,497
資本剰余金	6,861	6,861
利益剰余金	12,438	12,526
自己株式	△913	△914
株主資本合計	24,884	24,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△267	△224
土地再評価差額金	287	286
為替換算調整勘定	△22	△26
その他の包括利益累計額合計	△1	35
純資産合計	24,883	25,006
負債純資産合計	54,344	54,468

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年11月15日)
売上高	58,356	66,987
売上原価	50,704	57,958
売上総利益	7,652	9,029
販売費及び一般管理費	7,859	7,864
営業利益又は営業損失(△)	△207	1,165
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	12	12
仕入割引	48	57
その他	41	41
営業外収益合計	110	118
営業外費用		
支払利息	3	9
複合金融商品評価損	14	—
投資不動産管理費用	6	5
賃貸費用	19	—
その他	9	0
営業外費用合計	53	15
経常利益又は経常損失(△)	△150	1,268
特別利益		
固定資産売却益	3	0
投資有価証券売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	13	—
新株予約権戻入益	61	—
受取保険金	228	—
ゴルフ会員権償還益	1	—
特別利益合計	309	0
特別損失		
固定資産除売却損	7	16
減損損失	—	65
投資有価証券評価損	—	62
ゴルフ会員権評価損	4	11
役員退職慰労金	135	—
社葬費用	61	—
過年度給料手当	163	—
店舗閉鎖損失	9	—
災害による損失	73	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	14	—
特別損失合計	468	154
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△310	1,113
法人税等	21	580
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△331	533

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年11月15日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△331	533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△187	42
為替換算調整勘定	△3	△4
その他の包括利益合計	△191	38
四半期包括利益	△522	571
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△522	571

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年2月16日 至 平成23年11月15日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
	ディスプレイ 事業	不動産 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	56,936	352	1,068	58,356	—	58,356
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	5	19	37	△37	—
計	56,947	358	1,087	58,393	△37	58,356
セグメント利益又は 損失(△)	△329	117	80	△131	△76	△207

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△76百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整をおこなっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年2月16日 至 平成24年11月15日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
	ディスプレイ 事業	不動産 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	65,319	349	1,318	66,987	—	66,987
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	6	18	50	△50	—
計	65,345	355	1,336	67,038	△50	66,987
セグメント利益	962	108	168	1,239	△73	1,165

(注) 1. セグメント利益の調整額△73百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ディスプレイ事業」セグメントにおいて、当社の子会社が保有する土地について売却を予定していることから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(65百万円)として特別損失に計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注および売上高の状況

① 生産高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年11月15日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	25,084	30,780
百貨店・量販店市場	4,670	5,494
複合商業施設市場	6,009	5,497
広報・販売促進市場	10,656	11,978
博物館・美術館市場	6,135	4,922
余暇施設市場	2,764	4,134
博覧会・イベント市場	359	429
その他市場	5,348	5,994
ディスプレイ事業 小計	61,028	69,232
(不動産事業)	—	—
(飲食・物販事業)	—	—
合計	61,028	69,232

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 生産高の金額は販売価格によっております。
 3 不動産事業と飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

② 期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年11月15日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年11月15日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
専門店市場	26,648	8,052	30,396	8,933
百貨店・量販店市場	5,257	1,491	5,712	2,274
複合商業施設市場	5,082	5,556	5,800	3,881
広報・販売促進市場	11,887	5,726	12,096	4,941
博物館・美術館市場	5,287	4,279	5,379	3,420
余暇施設市場	3,301	1,579	6,497	4,469
博覧会・イベント市場	379	294	610	507
その他市場	7,476	5,243	6,045	5,035
ディスプレイ事業 小計	65,321	32,223	72,539	33,464
(不動産事業)	—	—	—	—
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	65,321	32,223	72,539	33,464

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 不動産事業と飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③ 売上高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年11月15日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	23,342	29,141
百貨店・量販店市場	4,593	4,177
複合商業施設市場	4,779	5,355
広報・販売促進市場	9,496	10,695
博物館・美術館市場	7,408	5,613
余暇施設市場	2,761	4,018
博覧会・イベント市場	232	477
その他市場	4,320	5,840
ディスプレイ事業 小計	56,936	65,319
(不動産事業)	352	349
(飲食・物販事業)	1,068	1,318
合計	58,356	66,987

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。

(2) セグメント別（ディスプレイ事業は制作品別）の生産高、受注および売上高の状況

① 生産高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年11月15日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	21,734	24,902
展示制作	15,640	16,255
環境演出制作	2,417	3,588
販促品制作	1,051	1,731
企画・設計・監理	4,975	6,779
その他	15,209	15,974
ディスプレイ事業 小計	61,028	69,232
(不動産事業)	—	—
(飲食・物販事業)	—	—
合計	61,028	69,232

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 生産高の金額は販売価格によっております。
 3 不動産事業と飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

② 期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月16日 至平成23年11月15日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年11月15日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
内装制作	23,040	10,601	27,896	12,942
展示制作	15,096	7,600	15,682	7,432
環境演出制作	3,946	3,085	2,637	1,698
販促品制作	1,042	183	1,828	177
企画・設計・監理	7,122	5,652	7,911	6,517
その他	15,072	5,098	16,582	4,696
ディスプレイ事業 小計	65,321	32,223	72,539	33,464
(不動産事業)	—	—	—	—
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	65,321	32,223	72,539	33,464

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 不動産事業と飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③ 売上高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月16日 至平成23年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年11月15日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	19,038	23,248
展示制作	15,740	14,337
環境演出制作	2,221	3,624
販促品制作	1,008	1,709
企画・設計・監理	3,797	5,920
その他	15,129	16,479
ディスプレイ事業 小計	56,936	65,319
(不動産事業)	352	349
(飲食・物販事業)	1,068	1,318
合計	58,356	66,987

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。